

事務部実習生インタビュー



当院の事務部では年に2回ほど、実習生の受け入れ・指導を行っています。今回、医事課や総務課、病棟クラーク、コンシェルジュ、リハビリテーション科助手という主に事務部の職種にて、約4週間の実習を行った実習生2名にお話を伺いました。

なぜ病院内事務を目指そうと思いましたか？

Kさん
「事務の仕事の中でも安定していて、自分自身が通院した際に病院内事務の方にお世話になったので、私もこうなりたいと思い目指しました。」

Uさん
「長く続けられる職種に就きたいと考えたからです。患者さまの近くで事務として支えたいと思いました。」

当院の印象を聞かせて下さい。

Kさん
「患者さまが積極的に楽しくリハビリテーションに取り組んでいる姿が印象に残りました。」

Uさん
「雰囲気が良いと感じました。皆さんがとても優しいです。」

今回の実習において心掛けていたことはありましたか？

Kさん
「教えられたこと以外でも自分でできることはないか、常に周りに気を配るよう心掛けていました。」

Uさん
「何でも積極的に取り組む姿勢を心掛けていました。」

実習を行う前と後では、違っていたことはありますか？

Kさん
「私は医事課がメインで実習をさせていただきましたが、医事課は病院全体の売り上げにかかわる責任重大な業務を担っているということを知ることができました。」

Uさん
「私は主に病棟クラークで実習をさせていただきました。病棟クラークは一人でコツコツと仕事をするイメージでしたが、いろいろな職種の方と連携していることを知り、チーム医療の大切さを実感しました。」

実習で得たことや学んだことはありますか？

Kさん
「さまざまな部署で実習をさせていただいたので、入院してから退院までの流れを知れたことや、コミュニケーションが仕事を円滑にするということを知りました。」

Uさん
「『報連相』の重要性、業務については『正確さ』『丁寧さ』を学びました。また、学校では学べない『現場』を知ることができました。」



元気に明るく話す姿はキラキラと輝いており、その様子からは熱意が伝わってきました。実習初日には、お二人とも緊張と不安が入り混じった表情をされていたのですが、実習を重ねていくうちに、だんだんと当院の一スタッフとして成長する姿が見て取れ、とても頼もしく感じました。お二人にとって実りある実習となっていれば幸いです。

クラーク 多名賀

新人看護師紹介

4月の入職から5ヶ月が経ち、だんだんと仕事や環境に慣れてきた7階の新人看護師の谷口さんに、今回お話を伺いました。

Q: どうして看護師さんになろうと思ったのですか？

A: 高校生のとき、生物の授業がきっかけで身体や健康について興味を持ったからです。また、祖母のお見舞いに行った際に、とても親身になって接している看護師さんを見て素敵だと思い、自分もなりたいと考えました。

Q: 入職して嬉しかったことはありますか？

A: 「よく気づいてくれるね」や「あなたは話しやすい」と患者さまに言われたとき、とても嬉しかったです。

Q: お休みの日は何をしていますか？

A: かき氷屋さん巡りです♡岩盤浴にもよく行きます。

Q: どんな看護師さんになりたいですか？

A: 患者さまに寄り添い、誰からも信頼される看護師になりたいです。患者さまにとって必要なこと、自分ができることは何かを考えながら、看護師として成長できるよう頑張りたいと思います。



とってもフレッシュでキラキラしてる谷口さんでした。これからも谷口さんらしく頑張ってもらいたいです。クラーク 井出・看護師 谷口

不在者投票



令和4年7月10日におこなわれた第26回参議院議員通常選挙の前に、ご入院中の患者さまで希望された方を対象として、院内で不在者投票をおこないました。各都道府県の選挙管理委員会によって指定されている病院であれば、ご入院中でも投票することができます。また、住んでいる市区町村以外の病院にご入院されていたとしても、投票が可能です。当院では、各病棟のデイルームを不在者投票の会場とし、約130名の患者さまに投票をしていただきました。投票用紙に記入していただき、投票箱に投票用紙を入れて完了となります。ご入院中でも、よりよい社会づくりに参加する患者さまの意思を大切にしたいと思います。

総務課 斉藤



TQM発表大会



令和4年5月14日(土)、関東カマチグループの事務部によるTQM発表大会が行われました。TQMとは、Total Quality Managementの頭文字をとった略で、「総合的品質管理」のことです。職員一人一人が、質の向上と改善を進める土台作りを目的としています。当院は、「カルテ管理をスムーズに行う」という演題で医事課が発表を行いました。他にも、「受付対応の円滑化」や「コピー機の運用について見直し、コスト削減を目指す」などさまざまな演題があり、今回のTQM発表大会で各病院の取り組みがわかり、当院との違いや今後の取り組みに対する参考になりました。今回のTQM発表大会を踏まえ、継続して質の向上や改善を行っていきたいと思います。

医事課 渡邊

学術大会

令和4年5月28日(土)に、第17回関東カマチグループ学術大会がオンライン形式で開催されました。学術大会は、関東カマチグループの各病院が、研究成果を発表する場です。今回は各病院2つの会場にわかれ、37の演題が発表されました。当院では、看護部から「自立患者の転倒件数減少にむけて」という演題、リハビリテーション科から「多職種により無関心期の心不全患者の生活指導を行った経験」という演題で発表を致しました。今回の学術大会を通して、他グループ病院の取り組みも聞けたことで、様々な対策や課題を共有できた有意義な時間となりました。今回の経験を積極的に日々の業務に活かしていきたいです。

リハビリテーション科 齋木



多職種合同研修



令和4年6月11日(土)に、関東カマチグループ回復期リハビリテーション看護師委員会主催の、多職種合同研修を行いました。ZOOMを使用したオンライン形式にて、看護師やケアワーカー、リハビリテーションスタッフ、ソーシャルワーカー、事務スタッフという多職種が参加しました。過去に実際に起こった患者さまの転倒事例に対して、多職種間で転倒対策や情報共有の適切なタイミング、退院後を見据えたADLアップ*などを話し合いました。それぞれの職種の視点を知ることができ、多職種での情報共有と意見交換の重要性を再確認し、学び多い研修となりました。

* ADLアップ=歩行や食事、着替えなど、日常生活動作の向上のことです。

看護師 金田

行事食

当院では月に1~2回行事食を取り入れています。入院中でも、季節や旬を感じていただけるように工夫を凝らしています。今回は旬の食材を豊富に使ったメニューで、患者さまから大変ご好評をいただきました。

栄養科 佐藤

7月7日(木)夕食 セブ

- セブそうめん
- 南瓜と茄子のそぼろあん
- セブフルーツゼリー



患者さまの声

- デザートが可愛かった
- 天の川みたいですね



7月23日(土)夕食 土用丑の日

- 鱈ちらし
- 清まし汁
- 季節の冷やし鉢
- 抹茶パナコア

患者さまの声

- 豪華で美味しかったです
- 病院で鱈が食べられて嬉しくて



看護部Instagram開設

看護部では、一緒に働いていただける方を募集しており、看護部を少しでも知っていただけたらとInstagramを開設いたしました。看護師や看護補助者のお仕事、病院についてなど、さまざまなことを発信しております。ぜひご覧ください。

看護部 https://www.instagram.com/harareha_kangobu_saiyou/
Instagramで「原宿リハビリテーション病院 看護部採用」と検索をお願いします

表紙について

今回の原宿タイムズvol.19の表紙は、当院の医師である鈴木先生が撮影した写真を採用致しました。写真を趣味のひとつとされている鈴木先生に、今回のチェコの街並みが印象的な写真を紹介していただきました。

「チェスキークルムロフ(チェコ)」

チェコの首都プラハから車で3時間程走るとチェスキークルムロフに着く。緩やかな丘の上には強力なボヘミアン家ローゼンバーク家のヴァイトコフチ家により1240年に建てられたチェスキークルムロフ城がそびえ立つ。1947年までシュヴァルツェンベルク家が所有し、1950年にチェコの国定記念物となった。城には広大な庭園がひろがり、バロック時代の劇場も備わっている。ここからは、周囲を川に囲まれた旧市街が眼下に展開される。町の中心にはゴシック様式の聖ヴァイト教会の尖塔がそびえ、スヴォルティ広場にはライトブルーやレモンイエローなどパステルカラーの一つ一つ微妙に形を変えた建物が集まり、石畳の上をゆっくり散策すると、中世にタイムスリップした感覚に襲われる。

